

石器の世界へようこそ

企画展『縄文石器入門～縄文石器の特色をさぐる』

- ◇期間 11月22日（土）～令和8年3月8日（日）まで
- ◇時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- ◇休館日 月曜（祝休日の場合は翌日）
12月28日（日）～1月5日（月）
- ◇観覧料 常設展観覧料のみ（一般200円、高校生以下無料、20名以上の団体150円）

馬高縄文館の冬季企画展『縄文石器入門』では、長岡市立科学博物館所蔵資料から、縄文時代草創期～晩期を網羅した石器・石製品資料の優品をご紹介します。さまざまな石材と加工法を駆使し、生活や儀礼に必要な石器を生み出した縄文人。彼らの暮らしと文化が透けてみえてくる石の道具たちをご覧ください。

令和7年度の馬高ニュースレターは、今号を持ちまして終了します。お読みいただき、ありがとうございました。来年度は4月号からお送りする予定です。今後とも馬高縄文館ならびに馬高ニュースレターをご支援いただきますよう、お願いいたします。

あむ編むあむ編む



縄文人たちはカラムシなどの纖維を使って衣服や敷物を編んでいました。



『アンギン編み体験！』※料金無料

- ◇日時 11月30日（日）午前10時～午後3時
- ◇定員 10名（先着）
- ◇対象 小学生以上（小学生1名につき保護者1名同伴）
- ◇持ち物 汚れてもよいタオル、定規、はさみ
- ◆申し込み期間 11月11日（火）～27日（木）

長岡市出身で縄文研究の第一人者考古学者・小林達雄さんが8月22日、逝去されました。87歳でした。心より哀悼の意を表し、常設展示室で追悼展示を行っています。

長岡高校を卒業、國學院大學で考古学を学び、東京都や文化庁の技官を経て母校の教授に着任。馬高縄文館には構想段階から関わり、開館以後も名譽館長として様々なご提言をいただきました。全国的な縄文土器編年の整備、新たな概念を創出し集落や社会を追究するなど、その研究は多岐にわたります。豊富な知識と実証的な検討に基づく研究成果は現代の縄文学の礎となっています。

【小林達雄名譽館長 追悼展示】

- ◇期間 12月27日（土）まで
- ◇時間 午前9時～午後5時
※入館は午後4時30分まで
- ◇休館日 月曜（祝休日の場合は翌日）
- ◇観覧料 常設展観覧料のみ
(一般200円、高校生以下無料、20名以上の団体150円)

※特別展『火炎土器と三十稻場式土器－長岡と十日町周辺の様相－』開催中（～11月3日（月祝）まで）

※イベントのお申し込みは長岡市馬高縄文館（0258-46-0601）までお電話ください。